

要安全確認計画記載建築物(病院群輪番制参加病院)の耐震診断の結果

令和3年 3月30日公表
令和6年 1月31日更新
名古屋市

建築物の耐震改修の促進に関する法律第9条の規定に基づき公表する、要安全確認計画記載建築物(病院群輪番制参加病院)の耐震診断の結果です。

※個々の建物の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の区分について、各建物の「耐震診断の方法の名称」ごとの「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」との対応を『附表 耐震診断の方法と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性』に示しています。(なお、いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。)
※附表の10から15-2、24の耐震診断の方法を用いた場合の I_s/I_{SO} については、 I_{SO} を算出する際に用いる U については、 $U=1.0$ 、 $E_s=0.6$ とした場合(Z 、 R_t 、 G が1の場合 $I_{SO}=0.6$)の I_s/I_{SO} を示しています。
※附表の8、9、23の耐震診断の方法を用いた場合の I_s/I_{SO} については、 I_{SO} を算出する際に用いる U については、 $U=1.0$ 、 $E_s=0.8$ とした場合(Z 、 R_t 、 G が1の場合 $I_{SO}=0.8$)の I_s/I_{SO} を示しています。
※附表において、 I_s/I_{SO} 、 $C_T \cdot S_D$ 、 $C_{TU} \cdot S_D$ の算出に用いる指標 Z 、 R_t 、 G について、備考欄に各指標について特に記載していないものについては、 $Z=1$ 、 $R_t=1$ 、 $G=1$ です。
各指標のうち1でないものについては、備考欄に数値を記載しています。

※耐震性ありと評価された建築物については、耐震改修等の予定の欄に斜線を引いています。

【病院群輪番制参加病院】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	国家公務員共済組合連合会 東海病院 病棟	千種区 千代田橋一丁目 1番1号	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.60$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$	建替え検討中	未定	
2	社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院 旧館	北区 上飯田北町2丁目 70番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.73$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	建替え	着工予定時期: 令和7年12月頃 完了予定時期: 令和9年7月頃	
3	医療法人安正会 安井病院 本館	昭和区 滝子町 27番19号	病院、寄宿舎	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	/	/	5階以下 (5階東側階段室を除く)
				23 一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第1次診断法により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{SO} = 1.32$			5階東側階段室
4	水谷病院	熱田区 金山町一丁目 4番3号	病院、住宅	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.10$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.66$	耐震改修	現在、工事計画、見積りを依頼中	4階以下 (RC造部分)
				7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.13$ $q = 0.79$			5階以上 (S造部分)
5	服部病院	熱田区 沢上一丁目 3番20号	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.53$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.36$	未定	未定	
7	藤田医科大学 ばんだね病院 C棟	中川区 尾頭橋三丁目 6番10号	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.69$	/		
8	医療法人山和会 山口病院 (5階建東側部分)	南区 加福本通3丁目 28番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.50$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.30$	建替え検討中	令和5年度頃	4階以下
				8 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{SO} = 1.27$			5階
9	医療法人山和会 山口病院 (7階建部分)	南区 加福本通3丁目 28番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.25$	建替え検討中	令和5年度頃	6階以下
				8 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{SO} = 1.60$			7階
10	北村病院	南区 菊住二丁目 4番12号	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 0.58$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.39$	耐震改修	検討中	
11	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 東病棟	名東区 梅森坂五丁目 101番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$	/		
12	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 外来管理棟	名東区 梅森坂五丁目 101番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	病棟建替えと併せて検討中	未定	1、2階 (RC造部分)
				7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.42$ $q = 0.51$			2階 (S造部分)
13	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 サービス棟	名東区 梅森坂五丁目 101番地	病院	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{SO} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.65$	/		